

参 考 明 細 書

工 事 名 令和6年度 涌谷浄化センター水処理コントロール設備(1系)更新工事

施 行 箇 所 涌 谷 町 字下新田地内

工 期 契約日の翌日 ～ 令和7年3月31日

担 当 者 涌谷町上下水道課 下水道班 平
Emell : gr-gesui@town.wakuya.miyagi.jp

工 事 概 要

工事種別 公共下水道 涌谷浄化センターストックマネジメント

・水処理コントロールシステム更新 1系統

1-1系水処理設備(W1-CC-1)

機器製作 N=1台

据え付け及び試運転 一式

・LED電灯灯具交換 N=20箇所

－ 特記仕様書 －

施工条件明示書

工事番号	項目	条件	内容	施工方法	備考				
1 工程関係									
	(1) 関連工事による施工時期の調整	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない							
	(2) 施工時期による制限	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない							
	(3) 関係機関等との協議の未成立	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない							
	(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない							
2 公害対策関係									
	(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	<input type="radio"/> ある							
3 安全対策関係									
	(1) 交通安全施設等の指定	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない							
	(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない							
4 排水工関係									
	(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない							
5 建設副産物対策関係									
(1) 共通事項		下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。							
(2) 建設発生土	処理・処分		処理・処分する場所	処理・処分方法	距離	制限時間			
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない			km	時 分 ~ 時 分			
		(3) 建設発生土以外の 建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない		km	時 分 ~ 時 分	
					工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。				
					アスファルト塊	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない		km	時 分 ~ 時 分
						建設発生木材	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない		km
建設汚泥	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない							km	時 分 ~ 時 分
	その他	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	電灯等の処分方法は監督員と協議の事	km			時 分 ~ 時 分		
(4) 再生材の利用		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	種類・数量	小型構造物型枠(木製合板)を使用する場合、「県産材利用型枠用合板(宮城県リサイクル認定製品)」を使用すること。					
6 工事現場のイメージアップ									
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	内容 イメージアップの具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。						
7 品質証明									
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-12によること。						
8 標準的な設計図書による発注方式									
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-17によること。						
9 資材関係(生コンクリート)									
		生コンクリートは、別に指定のある場合を除き、高炉セメントB種(JIS R 5211)の使用を原則とする。但し、請負者は高炉セメントの使用が明らかに不適当であると判断するに足りる合理的理由が有る場合は、別途監督職員と協議すること。							
		高炉セメントを用いた生コンクリートを使用するにあたり、JIS規格製品以外を使用する場合は、宮城県土木部共通仕様書に基づき、請負者は配合に臨場し、製造会社の材料試験結果、配合の決定に関する確認資料を監督職員に提出し、確認を得なければならないものとする。							
		生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。							
10 舗装工事の下請け制限について									
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第3編2-2-1によること。						
11 共通仕様書の適用									
		特に条件明示のないものについては、「宮城県土木部制定共通仕様書(土木工事編Ⅰ、Ⅱ)」によること。							

※ 条件欄に「ある」と記入した場合は内容、施工方法を記入すること。

特記事項

項目	内容	施工方法	備考
1 追加事項1			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			

本 工 事 費 内 訳 書

費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費								
	電気設備工							
		機器費						
			1系水処理設備 コントロールセンター	式	1			
			LED電灯具	箇所	20			
			計					機器費
		直接工事費						
			輸送費	式	1			第1号明細書
			小計					[輸送費]
			低圧ケーブル	式	1			第2号明細書
			制御ケーブル	〃	1			第3号明細書
			その他電線	〃	1			第4号明細書
			端末処理材	〃	1			第5号明細書
			小計					
			補助材料費	式	1			
			小計					
			計					[材料費]
			一般労務費	式	1			第6号明細書
			技術労務費	〃	1			第7号明細書
			計					[労務費]
			電気室盤架台 (管理棟)	〃	1			第8号明細書
			小計					[労務費]
			特許使用料	式	1			
			水道光熱電力料	〃	1			
			機械経費	〃	1			
			(率)	〃	1			
			小計					[直接経費]
			仮設費(率)	式	1			
			仮設費(積上げ)	〃	1			
			小計					[仮設費]
			計					直接工事費

令和6年度 涌谷浄化センター
水処理コントロール設備
(1系) 更新工事

工事特記仕様書
(電気設備)

令和6年11月

宮 城 県 涌 谷 町

目 次

	頁
第 1 章 総則	1
第 2 章 水処理コントロール設備	7
§ 1 水処理コントロール装置	7
§ 2 LED 電灯灯具	7

第1章 総 則

第1条 本工事は、契約書、本特記仕様書、標準仕様書（最新版）、図面、及び一般仕様書（最新版）等により施工する。

第2条 本工事および指定部分工事については、下記による。

1 本工事

概 要

水処理コントロール設備（1系）	一 式
LED電灯灯具	一 式

工 期 契約日の翌日 ～ 令和 7年 3月 31日

2 指定部分工事

概 要

完成期限 令和 7年 3月 31日

第3条 当該処理場・ポンプ場の環境条件は、下記に示す通りである。

- 1) 標高、約+6.00 mの場所
- 2) 塩害を受ける場所（ ）
- 3) 寒冷地
- 4) 豪雪地
- 5) 地盤沈下が生じやすい場所（ ）
- 6) 雷が多い場所

- 7) 施設内で特に湿潤な個所（ ）
- 8) 施設内で爆発性ガスのある個所
- 9) 施設内で腐食性ガスのある個所

- 相当負荷上水費
- 相当負荷工業用水費
- その他

(5) 下記設備は、総合試運転の対象外とする。

(6) 実負荷にて性能検査を行う設備

- 機械濃縮設備
- 機械脱水設備
- 汚泥焼却設備
- その他（ ）

(7) 総合試運転で行う設備の性能検査は、別に定める「総合試運転の手引」によるが、機械濃縮設備、機械脱水設備にかかわる性能確認の項目、内容な標準仕様書による。

2 総合試運転を別途工事で行う場合

(1) 機能保持について

総合試運転の開始予定日は、監督員と協議し決定すること。総合試運転開始までの設備の機能保持に必要な措置は、機械設備工事一般仕様書による。措置方法については書類にて監督職員に提出し承諾を受けた後、その措置を行うこと。

第5条 本工事は、分離発注（主要機器を発注した後に、別途付帯設備を発注する方式）工事で

- あるので、本条を適用する。
- ないので、本条を適用しない。
本工事は、分離発注のうち
- 主要機器に係る工事であるので、1項を適用する。
- 付帯設備に係る工事であるので、2項を適用する。

1 主要機器に係る工事

- (1) 請負者は、本特記仕様書、図面、および一般仕様書に基づいて主要機器の設計、製作および施工承諾図書等を作成すると共に、関連付帯設備に係る参考資料を提出する。この参考資料は、「基本設計」に準拠したもので現場状況を十分把握して作成する。なお、「基本設計」の内容は、監督職員が請負者に明示する。
- (2) 参考資料の作成は、次による。

- 1) 作成範囲は、別途定める範囲とする。
 - 2) 作成内容は、「実施設計業務委託一般仕様書」に準拠して、付帯設備の詳細設計を作成するの必要なものとする。
 - 3) 提出期限は、契約締結後3ヶ月を原則とするが、監督員との協議により変更することができる。
 - 4) 参考資料のうち取り合い関係図等は、関連工事の請負者と十分に調整して作成し、監督員に提出する。
 - 5) 本工事の主要機器に含まれていないのが(イ)の作成範囲に含まれる他の主要機器についても、付帯設備と同様に扱い参考資料を作成する。
 - 6) 提出部数は3部とし、支社設計課に2部、工事事務所に1部を提出する。
- (3) この参考資料は、完成検査の出来形の対象とはしない。

2 付帯設備に係る工事

- (1) 請負者は、本特記仕様書、図面、および一般仕様書に基づいて、付帯設備（主要機器の一部を含む場合がある）の設計、製作および施工承諾図書を作成する。
- (2) 承諾図書の作成に当り、参考資料の中から使用可能なものは、使用を妨げない。
- (3) 本工事に含まれる主要機器に係る未発注の付帯設備の参考資料は、(1)に準じて作成し提出する。

第6条 監督員事務所借上

- 1 本工事での借上は、 有 無
- 2 借上区分は、 新規 継続
- 3 事務所形式は、 U型 T型 A型 B型 C型
D型 E型 その他（ ）
- 4 掛け手間は、 含む 含まない
- 5 払い手間は、 含む 含まない
- 6 借上期間 令和 年 月から令和 年 月までの ヶ月間

第7条 低入札価格調査対象工事

1 施工体制台帳の写しの提出及びその内容のヒアリング

- (1) 「日本下水道事業団会計規程第58条の運用基準及びその取扱について」（昭和63年3月10日付経契発第8号）第1の調査基準価格を下回る価格で落札した場合においては、請負者は、主任監督員の求めに応じて、建設業法（昭和24年法律第100号）第24条の7第1項に規程する施工体制台帳の写しを主任監督員に提出しなければならない。
- (2) 施工体制台帳の写しの提出に際して、その内容のヒアリングを主任監督員から求められたときは、請負者の支店長、営業所長等はこれに応じなければならない。

2 施工計画書の内容のヒアリング

調査基準価格を下回る価格で落札した場合においては、一般仕様書に基づく施工計画書の提出に際して、その内容のヒアリングを主任監督員から求められたときは、請負者の支店長、

営業所長等はこれに応じなければならない。

第8条 分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化の実施について

1. 再生資材の利用

請負者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資 材 名	規 格	備考

2. 建設発生土の利用

盛土に使用する発生土は、工事からの建設発生土を利用するものとする。

3. 指定副産物の搬出〔4. で記載していれば不要〕

建設工事の施工により発生する指定副産物は、下記の場所に搬出することとする。

①受入れ場所：

②受入れ時間帯： 時 分～ 時 分

③仮置き等：

④搬出調書等：提出を義務付ける

4. 特定建設資材の分別解体等・再資源化等〔実施要領(1)口に該当する工事の場合〕

本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（(平成12年法律第104号)。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「7 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が精算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容		分別解体等の方法 (※)
	①	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

※ 「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

2) 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施 設 名 称	所 在 地

※上記2)については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

3) 受入時間

処分場： 時 分～ 時 分

処分場： 時 分～ 時 分

4) その他

適用基準等

「建設リサイクル法に関する工事实施要領」（日本下水道事業団 平成14年5月）

第9条 枠組足場

枠組足場を設ける場合は「手摺先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省平成15年4月策定）により、設置については「手摺先行工法による足場設置基準」によるものとする。

第2章 水処理コントロール設備等

§ 1 水処理コントロール装置

1. 使用目的

水処理の運転時間をコントロールすることを目的とするものである。

2. 仕様

項目	仕様	備考
(1) 形式	水処理コントロール	
(2) 数量	1台	

§ 2 LED電灯灯具

1. 使用目的

電灯灯具をLEDに交換することを目的とするものである。

2. 仕様

項目	仕様	備考
(1) 形式	LED電灯灯具	
(2) 数量	20台	

3. 標準仕様書の適用

第2章 第2節 § 1 及び § 2

4. 標準仕様書の選択項目および範囲（該当項目を○で囲む）

- (1) 既存のコントロールシステムを以上の性能とする事

5. 特記事項

本工事は調整運転を含んだ電子機器交換であり、本項一式を必要とするものではない。

部品交換後の動作保証を含む。

交換対象とする部品は監督員と協議すること。

また、交換時は推奨されるシステムも更新すること。

交換された部品は適切に廃棄すること。

点検票

		施設名称		管理棟	
リスト番号	01601006	工種	電気	管理方法	時間
資産名称	1系水処理コントロールセンター(W1-CC-1)				点検年月日
					2018年 10月 18日
分類	大	電気計装設備	中	負荷設備	小
設置年度	1998年度	標準耐用年数	15年	目標耐用年数	22年
設置場所	管理棟		電気室		
設置業者	神鋼電機株式会社			施工業者	神鋼電機株式会社
形式	屋内鋼板製閉鎖自立型			仕様	両面形
	1800W×2350H×550D				

点検項目	目視による点検	
	ヒアリング	No. 1, 2返送汚泥VVVF故障
	備考	電源OFFのため、ヒアリング
	調査の必要性	<input type="checkbox"/> 調査が必要 ⇒調査へ

点検写真

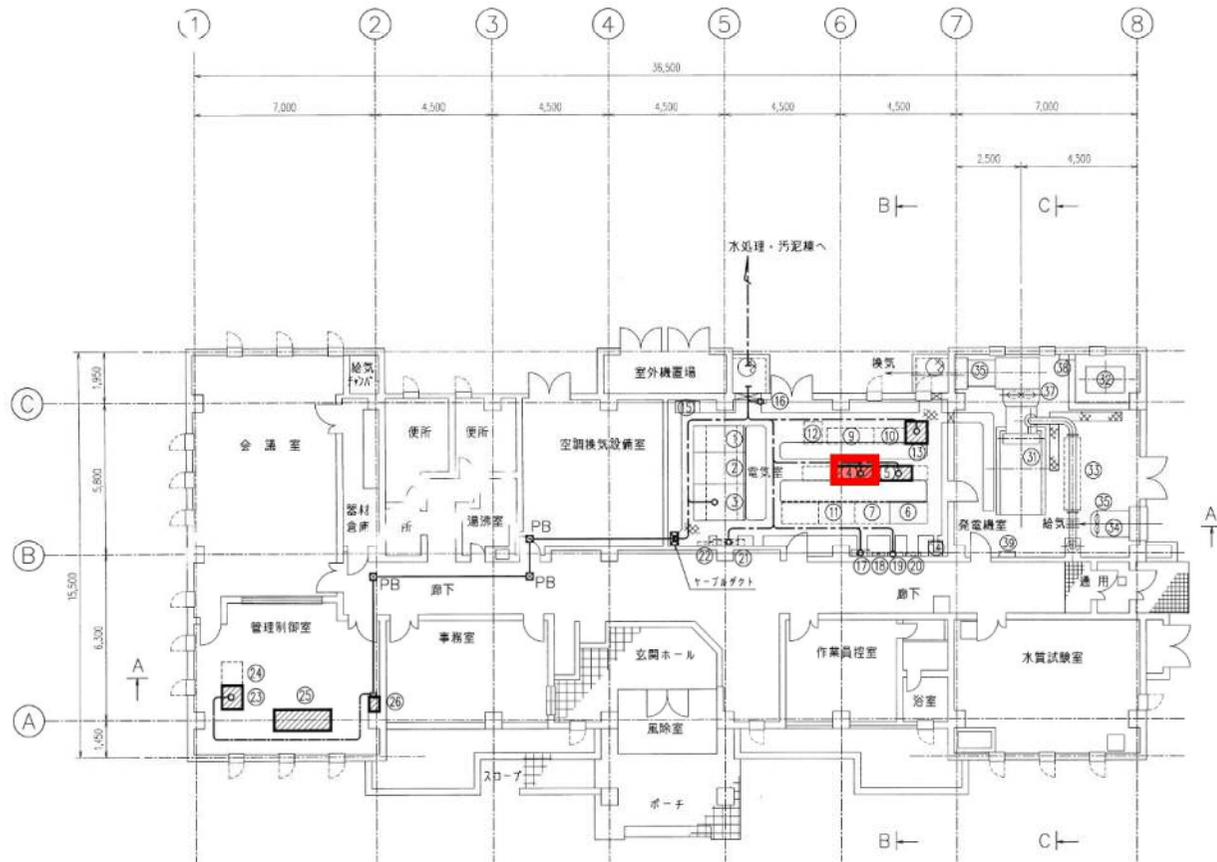
全景 (表)	全景 (裏)
	
No. 1返送汚泥ポンプVVVF装置	No. 2返送汚泥ポンプVVVF装置
	

涌谷浄化センター水処理コントロール設備（1系）更新工事

設計図面

令和6年11月

宮城県涌谷町



1階平面図

注記: は機能増設を示す。

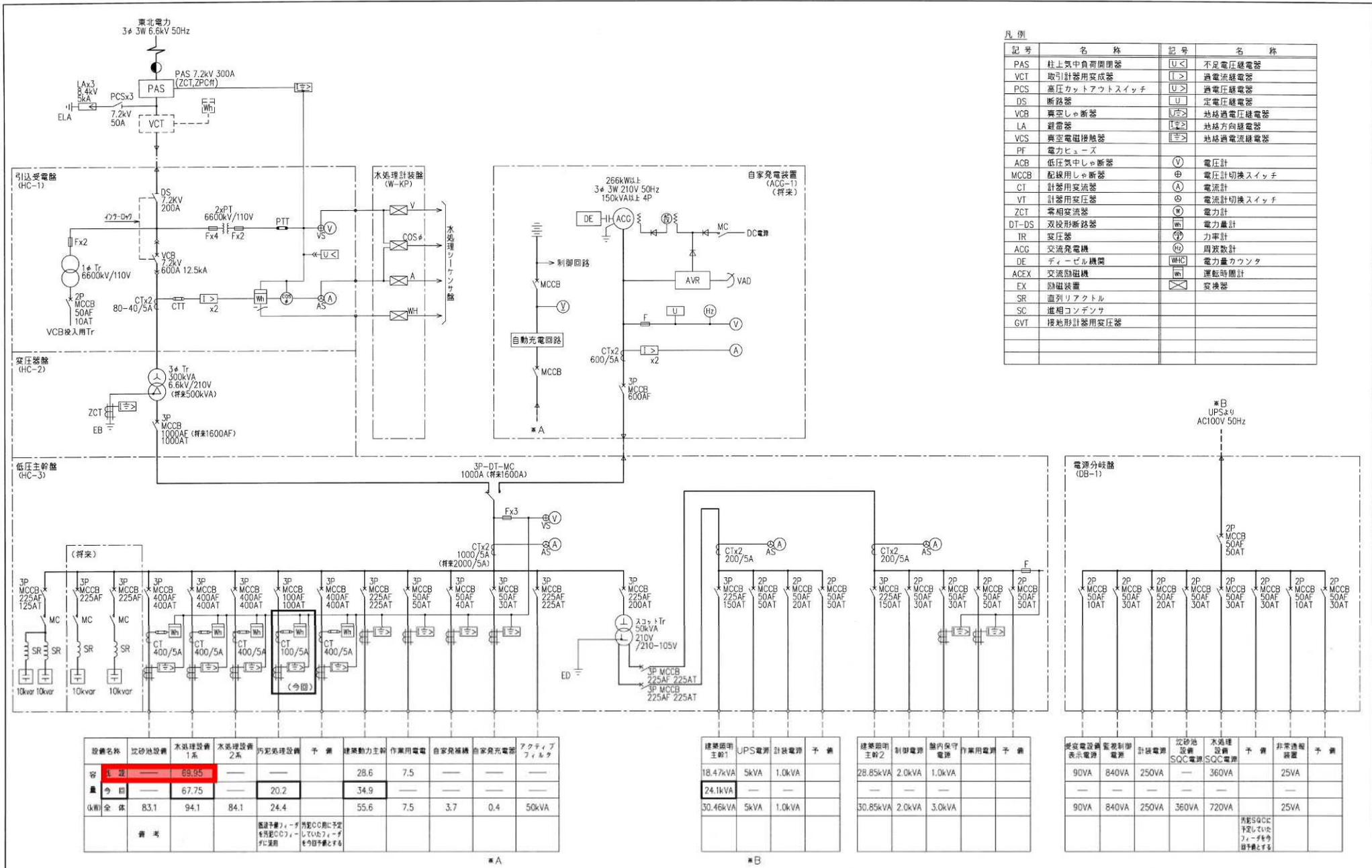
機材名称表

番号	記号	名称	備考
①	HC-1	引込受電盤	(既設)
②	HC-1	主要圧着盤	(既設)
③	HC-3	低圧主幹盤	(既設)
④	W1-CC-1	1系水処理コントロールセンタ	(機能増設)
⑤	W1-Ry-1	1系水処理補助配電盤	(機能増設)
⑥	VVVF-1-1,2	1系水処理VVVF盤	(将来)
⑦	VVVF-1-3,4	1系水処理VVVF盤	(将来)
⑨	W2-CC-1	2系水処理コントロールセンタ	(将来)
⑩	W2-Ry-1	2系水処理コントロールセンタ	(将来)
⑪	VVVF-2-1~4	2系水処理VVVF盤	(将来)
⑫	AF	アクティブフィルタ盤	(将来)
⑬	W-SQC-1	水処理ソーセサ盤	(機能増設)
⑭	DB-1	電源分岐盤	(既設)
⑮	UPS-1	ミニUPS	(既設)
⑯	ETB	接地用端子箱	(既設)
⑰	MM-1	電灯分電盤	(別途)
⑱	-	変換器	(別途)
⑲	MT-1	弱電端子盤	(別途)
⑳	-	T.V	(別途)
㉑	-	建築主幹盤	(別途)
㉒	-	外灯分電盤	(別途)
㉓	W-KP	水処理計装盤	(機能増設)
㉔	-	-	(機能増設)
㉕	CRT-1	FⅡ型CRT監視制御装置	(機能増設)
㉖	EM-1	非常通報装置	(機能増設)
⑳	ACG-1	自家発電装置	150kVA (将来)
㉑	-	燃料小出槽	776L (将来)
㉒	-	排ガス消音器	(将来)
㉓	-	給気消音器	(将来)
㉔	GM-1	給気ファン	1.5kW (将来)
㉕	-	排気消音器	(将来)
㉖	GM-2	排気ファン	2.2kW (将来)
㉗	AL-1	給油警報盤	(将来)
㉘	GM-LCB-01	発電機補機盤	(将来)

LED電灯灯具 20基

※今回更新箇所

施設名	浦谷町浦谷浄化センター建設工事		
図面名称	管理棟 配置図 (平面図)	縮尺	1/100
検収年月		図面種別コード	Z623
設計管理		業務委託番号	0-01-0678-J01
受託業者		図面番号	1E-18



凡例

記号	名称	記号	名称
PAS	柱上気中負荷開閉器	U<	不足電圧継電器
VCT	取引計器用変成器	U>	過電流継電器
PCS	高圧カットアウトスイッチ	U>	過電圧継電器
DS	断路器	U	定電圧継電器
VCR	真空しゃ断器	U>	地絡過電圧継電器
LA	避雷器	U>	地絡方向継電器
VCS	真空電磁接触器	U>	地絡過電流継電器
PF	電力ヒューズ		
ACB	低圧気中しゃ断器	V	電圧計
MCCB	配線用しゃ断器	⊕	電圧計切換スイッチ
CT	計器用変流器	A	電流計
VT	計器用変圧器	⊙	電流計切換スイッチ
ZCT	零相変流器	⊙	電力計
DT-DS	双投形断路器	⊖	電力計
TR	変圧器	⊙	力率計
ACG	交流発電機	⊖	周波数計
DE	ディーゼル機関	⊖	電力計カウンタ
ACEX	交流励磁機	⊖	運転時間計
EX	励磁装置	⊖	変換器
SR	直列リアクトル		
SC	進相コンデンサ		
GVT	接地形計器用変圧器		

設備名称	立地設備	水処理装置 1系	水処理装置 2系	汚泥処理設備	予備	建築動力主幹	作業用電源	自家発電機	自家発電装置	アクティブフィルタ
容量	—	69.95	—	—	—	28.6	7.5	—	—	—
電圧	—	67.75	—	20.2	—	34.9	—	—	—	—
電流	83.1	94.1	84.1	24.4	—	55.6	7.5	3.7	0.4	50kVA

備考 既設予備フィーダ汚泥CC用に予定も汚泥CCフィーダとしていたフィーダを今回更新する

※A

建築照明主幹1	UPS電源	計装電源	予備	建築照明主幹2	制御電源	館内保守電源	作業用電源	予備
18.47kVA	5kVA	1.0kVA	—	28.85kVA	2.0kVA	1.0kVA	—	—
24.1kVA	—	—	—	—	—	—	—	—
30.46kVA	5kVA	1.0kVA	—	30.85kVA	2.0kVA	3.0kVA	—	—

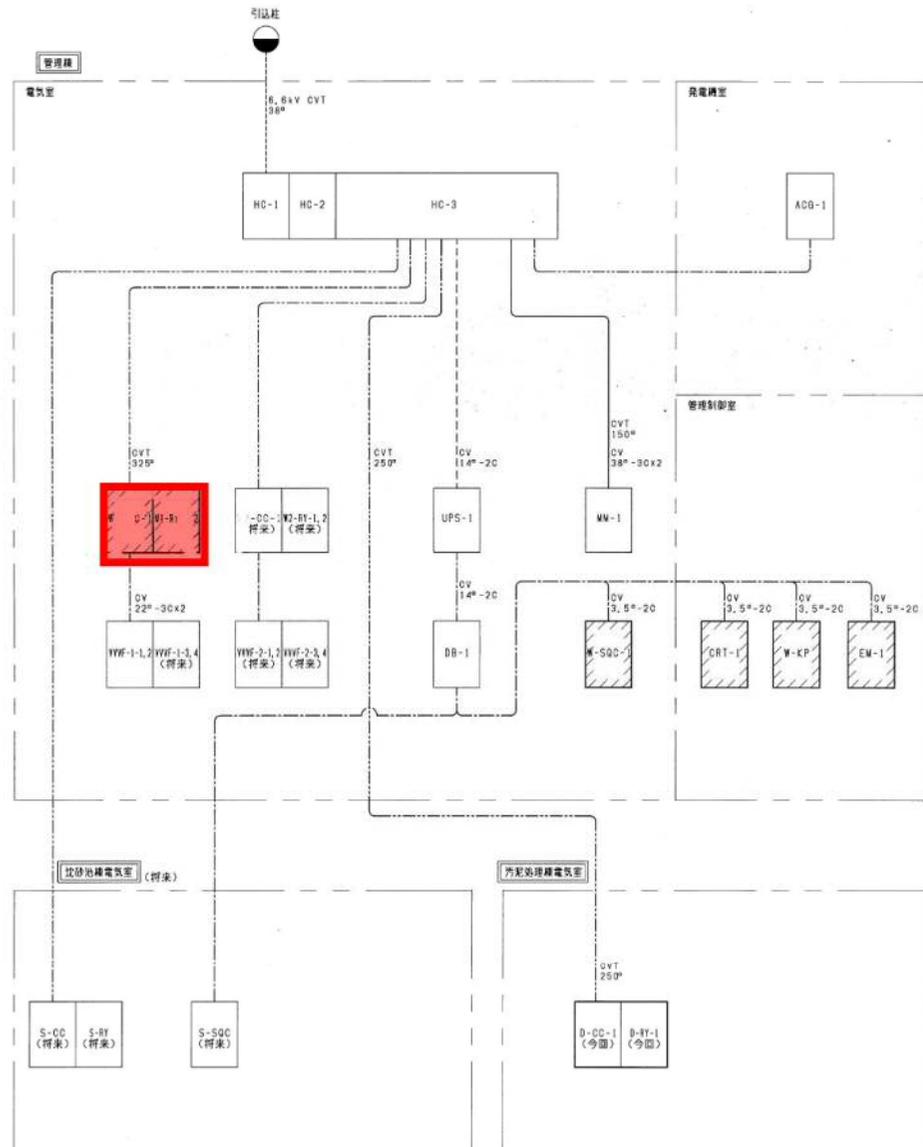
※B

絶電設備表示電源	監視制御電源	計装電源	立地設備SQC電源	水処理設備SQC電源	予備	非常通報装置	予備
90VA	840VA	250VA	—	360VA	—	25VA	—
—	—	—	—	—	—	—	—
90VA	840VA	250VA	360VA	720VA	—	25VA	—

汚泥SQC予定していたフィーダを今回更新する

※今回更新箇所

施設名	浦谷町浦谷浄化センター		
図面名称	単線結線図	縮尺 NONE	
検取年月	—	図面種別コード	Z602
設計管理	—	業務委託番号	0-01-0678-J01
委託業者	—	図面番号	E-2



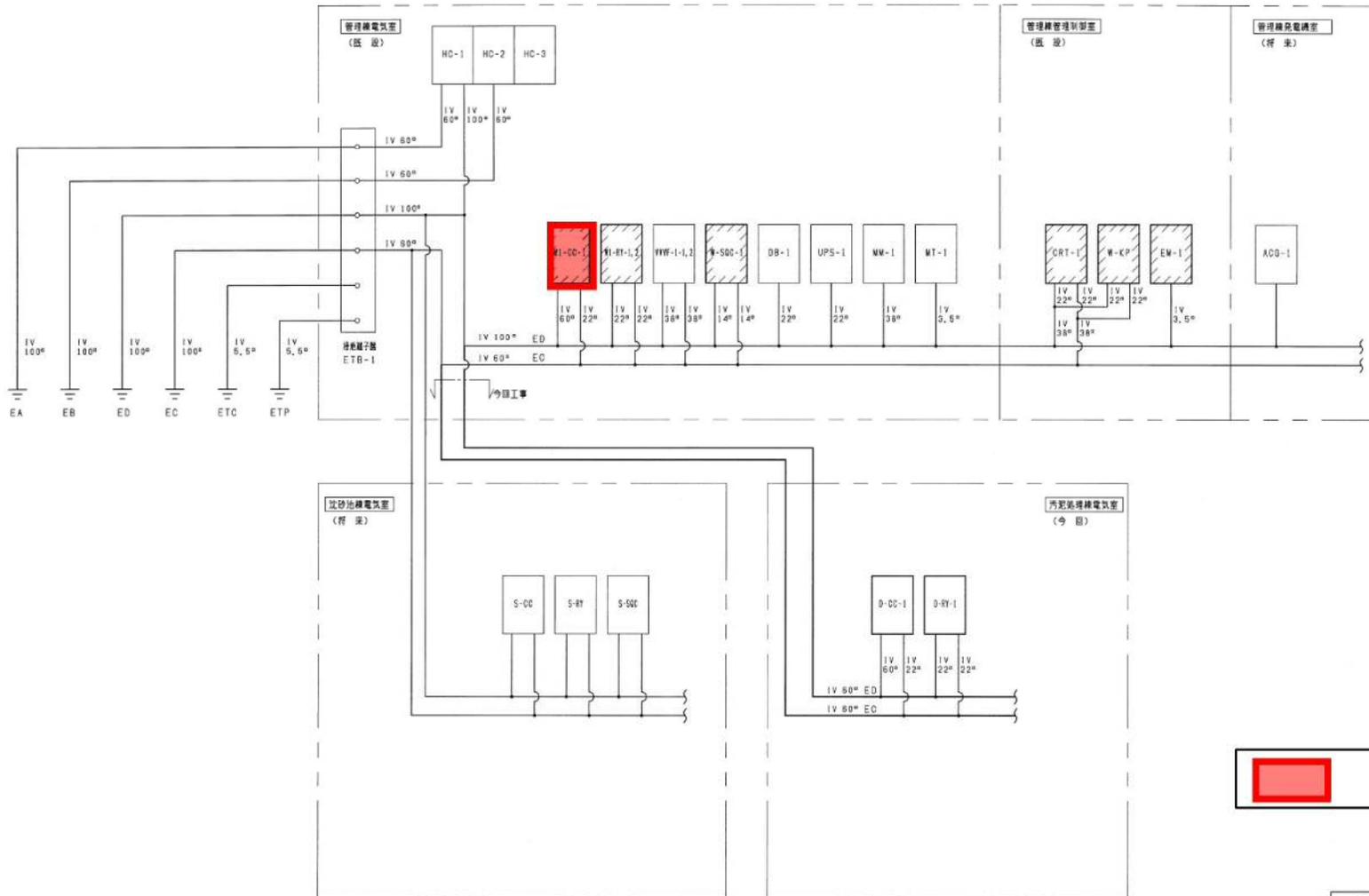
記号	名称	備考
HC-1	引込電盤	既設
HC-2	集配電盤	既設
HC-3	集配電盤	既設
W1-CC-1	1系本館用コントローラセンタ	既設
W1-RY-1,2	1系本館用補助電盤	既設
VVVF-1-1,2	No.1-1,2等気流機インバータ盤	既設
W-SQC-1	気流機サーキットブレーカ盤	既設
DB-1	電源分岐盤	既設
UPS-1	UPS (5kVA)	既設
CRT-1	F2型CRT監視制御装置	既設
W-KP	水質検出装置	既設
EM-1	非常通報装置	既設
ACG-1	自家発電装置	既設
D-CC-1	汚泥処理コントローラセンタ	今回
D-RY-1	汚泥処理補助電盤	今回
S-CC	送砂機コントローラセンタ	将来
S-RY	送砂機補助電盤	将来
S-SQC-1	送砂機サーキットブレーカ	将来

記号	電圧区分	備考
-----	6.6kV 3φ	
-----	210V 3φ	
-----	210-105V 1φ	
-----	105V 1φ	
-----	105V 1φ (UPS)	

注記：1. □ は今回工事を示す。
 2. ▨ は機能増設を示す。



施設名	通谷町通谷浄化センター		
図面名称	電源系統図 (幹線)	縮尺 NONE	
検収年月		図面種別コード	Z604
設計管理		業務委託番号	0-01-0094-J01
受託業者	()	図面番号	E-5



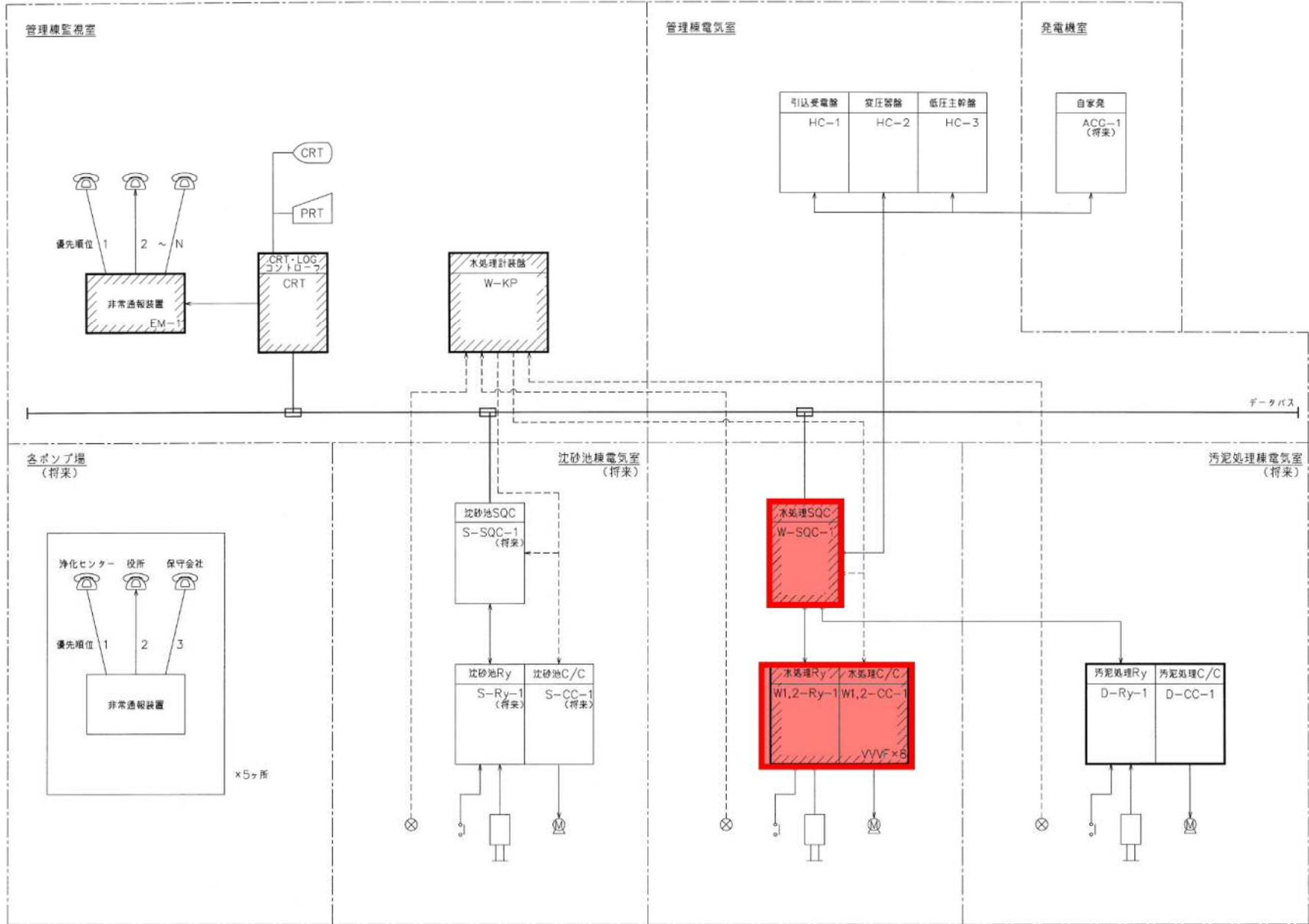
記号	名称	備考
HC-1	勾込受電盤	既設
HC-2	配分盤	既設
HC-3	低圧受電盤	既設
W1-DD-1	1系本館用コントロールセンター	機能増設
W1-RY-1, 2	1系本館用補助配電盤	機能増設
WVF-1-1, 2	No. 1-1, 2種用保護インバータ盤	既設
W-SGD-1	水処理用サーバー盤	機能増設
DB-1	電源分岐盤	既設
UPS-1	UPS (5kVA)	既設
CRT-1	F2型CRT監視制御装置	機能増設
W-KP	水処理用制御盤	機能増設
EM-1	非常用電源	機能増設
ACG-1	自家発電装置	将来
D-CC-1	汚泥処理用コントロールセンター	今回
D-RY-1	汚泥処理用補助配電盤	今回
S-CC	加砂池コントロールセンター	将来
S-RY	加砂池用補助配電盤	将来
S-SGD-1	加砂池用サーバー盤	将来

記号	名称	備考
EA	A種接地線 (A種、C種、D種共用)	
EB	B種接地線	
ED	D種接地線	
EC	C種接地線 (引込側)	

※今回更新箇所

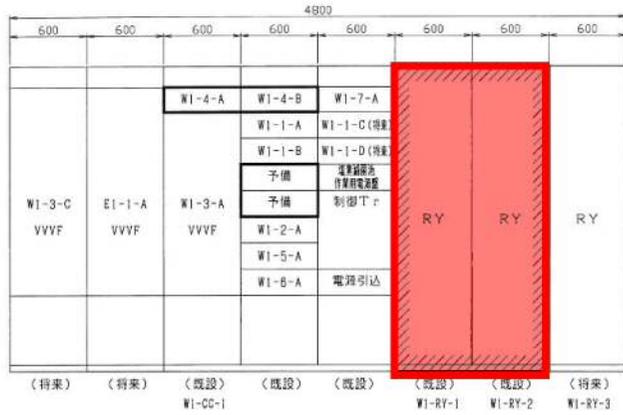
注記：1. は今回工事を示す。
 2. は機能増設を示す。

施設名	瀬谷町瀬谷浄化センター		
図面名称	接地幹線系統図	縮尺	NONE
検収年月		図面種別コード	Z605
設計管理		業務委託番号	0-01-0094-J01
受託業者		図面番号	E-7

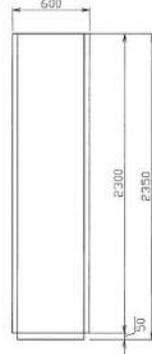


施設名	浦谷町浦谷浄化センター		
図面名称	システム構成図	縮尺	NONE
検取年月		図面種別コード	Z607
設計管理		業務委託番号	0-01-0678-J01
受託業者		図面番号	E-10

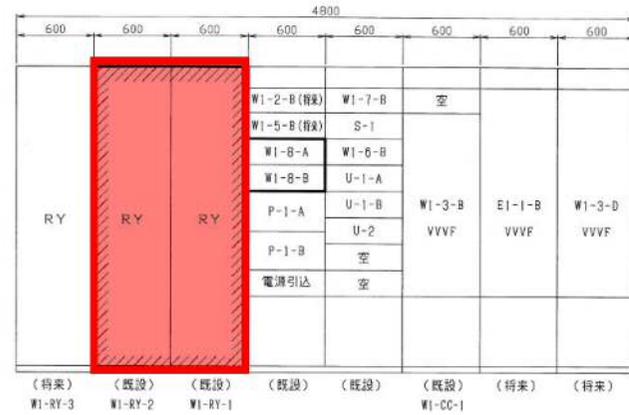
- 注記 1.  は今回を示す。
 2.  は機能増設を示す。



正面図

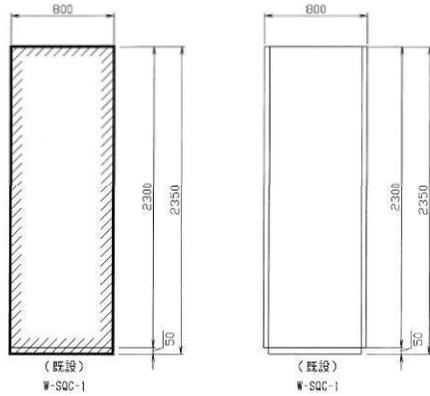


側面図



裏面図

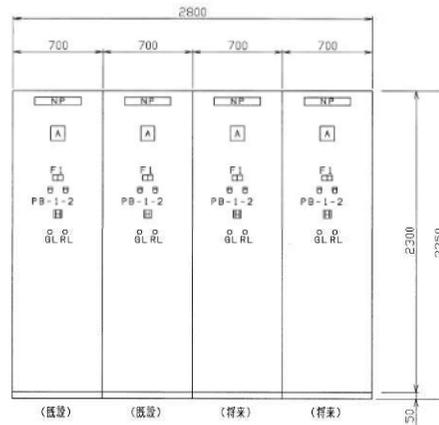
1系水処理コントロールセンター，補助継電器盤外形図



正面図

側面図

水処理シーケンサー盤



- 注記：1. は今回工事を示す。
 2. は機能埋設を示す。
 3. 寸法値は参考とする。
 4. 今回、余剰汚泥ポンプAのコニートを汚泥槽床排水ポンプユニットとし、汚泥処理槽CCに移設する。
 5. 空きユニット部は、覆しておく。

番 名 称	No. 1-1 種別設置インバータ盤	No. 1-2 種別設置インバータ盤	No. 1-3 種別設置インバータ盤	No. 1-4 種別設置インバータ盤
番 記 号	VVVF-1-1	VVVF-1-2	VVVF-1-3	VVVF-1-4

凡 例

符 号	名 称
A	電流計
H	運転時時計
GL	停止
RL	運転
PB-1	押しスイッチ「ランプテスト」
PB-2	押しスイッチ「故障復帰」

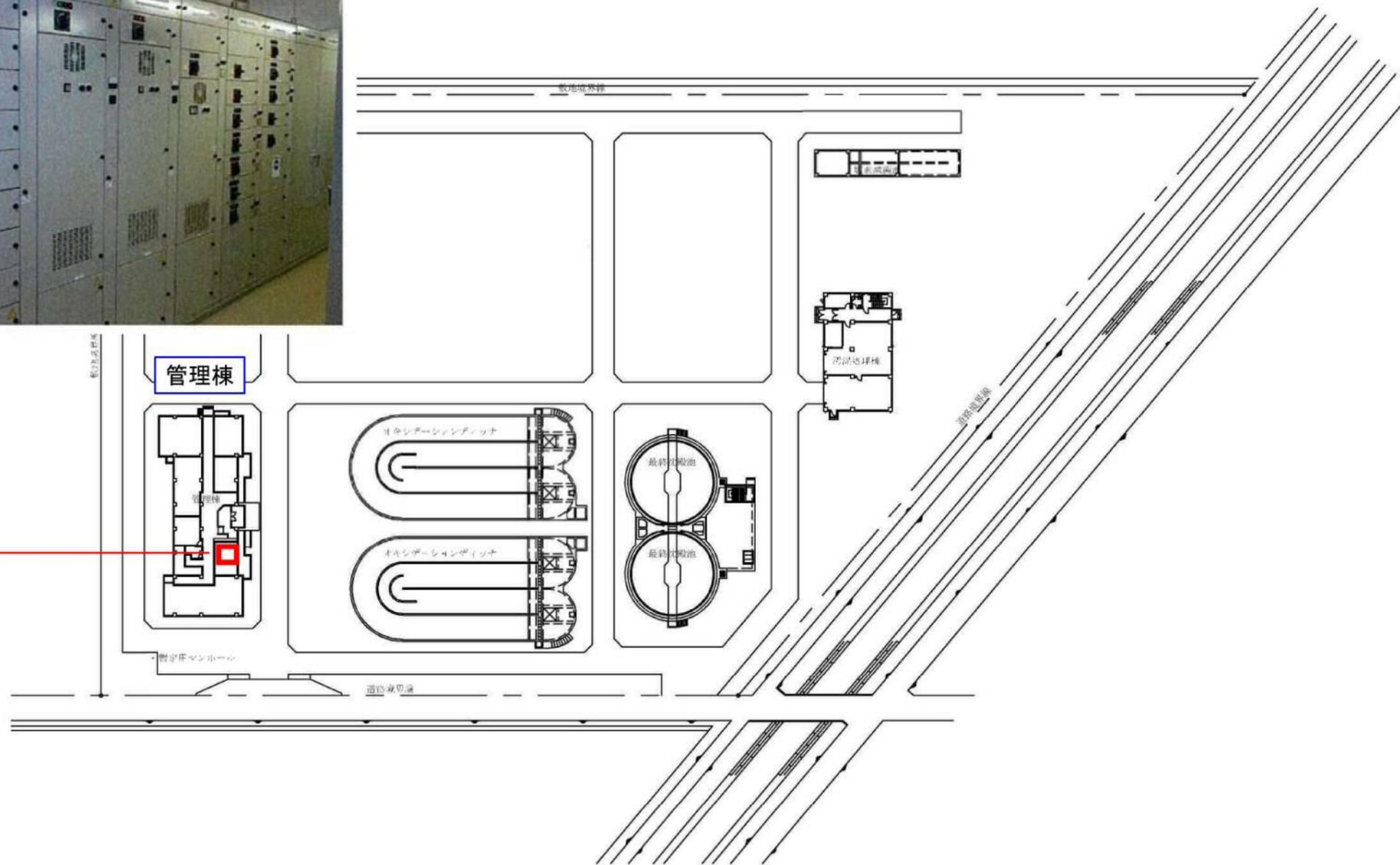
F1

消負荷	VVVF故障
-----	--------

参考図

施設名	浦谷町浦谷浄化センター		
図面名称	1系水処理コントロールセンター外形図	縮尺	1/20
検収年月		図面種別コード	Z612
設計管理		業務委託番号	0-01-0678-J01
受託業者		図面番号	E-13

令和6年度 涌谷浄化センター水処理コントロール設備（1系）更新工事



事業名				
図面名称	涌谷浄化センター 一般平面図			
縮尺	1:500	図面番号	1 / 1	
作成年月		図数	張数	冊数
事業主体	宮城県涌谷町			